

平成29年3月30日
北海道信用農業協同組合連合会

J Aバンク移動店舗が北海道に初導入

～地域の皆様への金融サービス充実と災害発生時の緊急支援のために～

このたび4月3日(月)から、北海道で初めてJ Aバンクの移動店舗が運行を開始致します。
以下にその目的および概要などについて、ご案内致します。

1. 北海道での初導入に至る経過

(1) 背景および目的

J Aバンクでは「農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献」の一環として、全国各地のJ Aでの移動店舗の導入を進めています。

移動店舗は信用事業の窓口端末を搭載して地域を巡回し、地元の組合員・利用者の皆様へ金融サービスを提供致します。

また、広域災害等への支援のため、被災したJ A店舗に代わり、被災地の利用者への金融サービスが提供できるよう、災害発生時に今回企画した移動店舗を被災地域へ派遣する枠組みも構築しました。

(2) 北海道での初導入

このような背景のもと、今般以下の2つのJ Aにおいて移動店舗の導入を行うことになり、4月から運行を開始致します。

導入J A J A新はこだて (本所：北斗市)、J Aオロロン (本所：羽幌町)

2. 各J Aの通常時営業の概要

(1) J A新はこだて

江差管内上ノ国町で営業します。

これまで地域を支えてきた当J Aの上ノ国支店の金融窓口が3月末で終了するのに代わり、移動店舗で金融サービスを提供し、引き続き地域の皆様の利便性を維持することとしています。

(2) J Aオロロン

当J Aの管内である羽幌町、初山別村、遠別町内を巡回して営業します。

当J Aの車両は貯金入出金といった金融サービスだけでなく、日用品や食料品の販売も行う購買併設の移動店舗であり、地域の皆様への総合サービスの充実を図ることとしています。

J Aがこれからもいっそう地域に密着し、農業と皆様の暮らしを支え続けていくため、これらの移動店舗を通じて地域の発展に貢献できるよう、当会も農林中央金庫とともに導入をサポートして参ります。

J A新はこだての移動店舗車



J Aオロロンの移動店舗車

